

新時代の 北海道観光を 考える

令和5年度
オープンイノベーションセミナー

国内外から観光客が戻りつつあるここ北海道で
あるが、観光産業は人手不足、供給制約が懸念され
足元は揺らいでいる。
加えて環境負荷低減、地域の持続可能性への貢献も求められており、
まさしくイノベーションが必要である。
本セミナーでは先端に行く有識者を招き、オープンイノベーションの
観点から今後の研究テーマの発掘、そして社会実装に繋ぐ産学官連携
プロジェクトの創出を議論する。

開催日 2024年 1 / 22 月

時間 14:30~17:30(開場14時00分)

会場 TKPガーデンシティPREMIUM札幌大通
(札幌市中央区南1条西1丁目8-2 高桑ビル 6階 ホール6D) 

PROGRAM

14:30~14:35 主催者挨拶

国立大学法人北海道国立大学機構
オープンイノベーションセンタービジネス開発部門 部門長・教授 玉井 健一

14:35~15:45 基調講演

北海道に必要な観光とは

東京女子大学副学長・
現代教養学部国際社会学科教授

矢ヶ崎 紀子 氏



15:45~15:55 休憩

15:55~17:05 パネルディスカッション

テーマ「北海道における今後の観光産業の指針」

東京女子大学副学長・現代教養学部国際社会学科教授 矢ヶ崎 紀子氏
国土交通省北海道運輸局 観光部長 水口 猛氏
株式会社JTB北海道 事業部 伊藤 誠氏
Fourwin株式会社 代表取締役社長 永瀬 駿平氏

ファシリテーター

国立大学法人北海道国立大学機構
オープンイノベーションセンタービジネス開発部門教授 岸本 稔

17:05~17:25 オープンイノベーションセンターの取り組みのご紹介

国立大学法人北海道国立大学機構
オープンイノベーションセンタービジネス開発部門 教授 北川 泰治郎

主催 国立大学法人北海道国立大学機構
オープンイノベーションセンター

共催 小樽商科大学

後援 国土交通省北海道運輸局、北海道、公益社団法人北海道観光振興機構、
北海道経済連合会、Fourwin Fourwin株式会社、Hokkaido Airports* 北海道エアポート株式会社

参加費
無料

定員

会場参加: 120名
オンライン: 300名

締切 2024年1月18日(木)

新時代の北海道観光を考える

登壇者プロフィール

講師

東京女子大学 副学長・
現代教養学部国際社会学科教授

やがさき のりこ
矢ヶ崎 紀子 氏



2006年九州大学大学院法学府政治学修士。
住友銀行、日本総合研究所、首都大学東京特任准教授、東洋大学教授を経て2019年より現職。2008年から2011年まで国土交通省観光庁参事官(観光経済担当)。国土交通省交通政策審議会観光分科会会長、国土審議会北海道開発分科会特別委員、農林水産省食料・農業・農村政策審議会専門委員、文化庁文化審議会専門委員、北海道観光審議会委員などの審議会等委員に就任。東武鉄道社外取締役。日本貨物鉄道社外取締役。NEXCO東日本社外監査役。著書に『インバウンド観光入門』(2017年見洋書房)ほか。

パネリスト

国土交通省北海道運輸局
観光部長

みずぐち たけし
水口 猛 氏



1982年 運輸省北海道運輸局に入局
1989年 小樽商科大学短期大学部修了
2004年 北海道観光局へ出向
2006年 北海道運輸局観光部国際観光課に復帰以降、現職まで継続して観光行政に携わっている。
Adventure Travel World Summit アラスカ大会(2016)、同スウェーデン大会(2019)、同北海道・日本大会に参加(2023)。
共著に「アドベンチャートラベル大全」(2021年)。

パネリスト

株式会社JTB北海道 事業部
営業第四課営業担当課長

いとう まこと
伊藤 誠 氏



1999年4月、株式会社日本旅行北海道入社。教育旅行営業を経験後、北海道洞爺湖サミット・FISノルディックスキー世界選手権等のMICE営業を担当。2013年1月 株式会社JTB北海道入社。アジア冬季大会・日本小児科学会等大型イベント・旅行部門の運営。地方創生関係では、観光による地域活性化と経済活動拡大に取り組む。利尻礼文観光推進協議会・北宗谷広域観光推進協議会と連携し、二次交通課題対策の交通系フリーパス「N45°CPASS」(通称NPASS)の企画開発、商品流通を行った。2019年より法人企業営業を主とし東京を本社に持つ大手企業(製造・IT等)企業等を担当し、ワーケーションを始めとする福利厚生、企業価値向上等に取り組む。2021年より、地方創生事業を主とし道内過疎地域、道北では礼文島の関係人口、交流人口創出プログラムに従事。

パネリスト

Fourwin株式会社
代表取締役社長

ながせ しゅんぺい
永瀬 駿平 氏



1987年生まれ、北海道当別町出身。北海高等学校卒、専修大学経済学部卒。理化学研究所 生命機能科学研究センター(BDR)や株式会社マーズフラッグでプログラマーとして従事し、創業シミュレーションや新規サービスの開発、AIの精度改善などIT業務を幅広く経験する。2022年7月に 東京大学大学院情報理工学系研究科UMP-JUSTが主催する第2回アイデアソンに参加して旅行者の交通費を実質無料化するアイデアを考案して最優秀賞を受賞。その後、アイデアを特許出願してアプリを開発し、2023年5月にFourwin株式会社を設立。日本と世界に旅行革命を起こすことをミッションに活動中。

オープンイノベーションセンター(ACE)

オープンイノベーションセンターは、帯広畜産大学の「Agriculture(農学)」、小樽商科大学の「Commerce(商学)」、そして北見工業大学の「Engineering(工学)」から、通称ACE(エース)と設定し、活動します。ACEは、北海道地域が抱える課題に対して生産者から大学・企業等までが一体となって共同研究を行える体制の構築や、国のICT基盤を活かし、三大学情報共有システムを構築、研究情報を統合管理・活用・発信していきます。企業/現場が描く未来の姿を目指し、課題解決策を考える発想で実証試験の充実を図るなど、ACEが中核となった研究プロジェクトに取り組んでまいります。

産学官金の期待に答えた未来起点オープンイノベーションの推進

- ▶ ACEが中核となり企業/現場からのバックキャスト型課題設定を行い現場やモデル環境での実証試験を充実
- ▶ 北海道地域が抱える課題に対して生産者から大学・企業等までが一体となって共同研究を行える体制を構築
- ▶ 研究情報を統合管理・活用・発信し知識集約型社会を見据えた分野融合研究による「知の社会実験」を実現

産学官金連携促進によるイノベーション創出

お申込み・お問い合わせ

国立大学法人北海道国立大学機構
経営企画課大学連携室研究推進係

TEL:0134-27-5222 FAX:0134-27-5213
E-mail:ace_jimu@office.otaru-uc.ac.jp
URL: https://www.nuc-hokkaido.ac.jp/

お申込方法 二次元コードを読み取り、フォームよりお申し込みください。

(読み取りができない場合は、必要事項をご記入のうえ、下記アドレスまでお送りください。)

必要事項

- ①ご氏名 ②ご氏名(ふりがな)
- ③ご所属(社名、学校名等)※学生の方は学年をご記入下さい
- ④電話番号 ⑤E-mail
- ⑥イベントの参加形式(対面 or オンライン)

お申込み

ace_jimu@office.otaru-uc.ac.jp

